

「第8回 議会報告会・市民との意見交換会」での、市民からのご意見への行政の回答

1	<p>Q. 【障がい者の居場所について】</p> <p>①養護学校卒業後のハンデのある子供達の居場所について、障がい者の施設が不足している現状で、他市に頼るのが現状ですがこれでいいのでしょうか。逆に他市より迎えるくらいの体制を創るべきではないのでしょうか。知立市の今後の考えをお聞かせ頂きたい。</p> <p>②市の計画が見えない中で、市民が新規事業を起こそうとした時、家賃や事業所の改装費用など初期費用の負担はとても大きい。市は1年間の家賃補助と言っているようですが、障がいを持つ親たちの力ではそれだけではとても大変です。立ち上げに十分な支援について市の考えはないのでしょうか。</p> <p>③ハンデを抱える子どもたちの親は、多かれ少なかれ日々大変なご苦労をされています。そんな親たちが福祉事業を起こそうとした時、とてもとても大変な負担がかかります。日々の暮らしの中で悩み苦しんでいられます。健常者の親御さんとは少し違い、一生その苦しみと戦って生きていかねばなりません。そのことを忘れないで下さい。ぜひ、市として良識ある施策を早急に取り組んで下さい。</p>
	<p>回答所管課 福祉課</p> <p>ハンデを抱える子どもたちとそこご家族の支援体制が充分ではない現状については、市としましても認識いたしております。</p> <p>特にハンデにより養護学校卒業後に就労支援施設への移行が困難な方を受け入れる「生活介護支援事業」を行っている事業所は市内に1箇所しかなく、しかも満員で新たな利用者の受入が困難な現状にあっては、やむなく市外の事業所へ通っていただいています。</p> <p>市としましてもこのことについての対応策として、別の事業所と連携し平成26年度に新しく生活介護支援事業所を開所する準備を進めているところです。</p> <p>また、子どもたちのご家族による事業所の新規設立の支援策は、ご指摘のとおり検討中の1年間の家賃補助制度しか無いのが現状ですが、経済的支援以外で市として出来ることがあれば、協力させていただきます。</p>

2	<p>Q. 【ミニバスの運転について】</p> <p>車内で定期券を買った時、座席に着く前に発車したので転んで手首を痛めた。もっと丁寧な運転をして欲しい。こういう問題は、どの様に意見を反映してもらえますか。</p>
	<p>回答所管課 まちづくり課</p> <p>バスは乗車された方の着席を確認してからバス停を発車するのですが、満席で席に座れず立ったままの状態の方がバスの発車時に転倒されてしまいました。</p> <p>立ったままの乗客がいる場合には特に注意し「発車します。ご注意ください。」等アナウンスすることにより、事故がおきないように安全な運行を行うように、また乗車していただく方が気持ちよく利用していただけるように運行事業者へ指導し、改善していきます。</p>

<p>Q. 【東小学校の外国人対策について】 東小学校は外国人が半数を超え、授業にも支障が出ているのではないかと。又、教員の負担も大きいのではと思われる。このまま推移すると教育上大きな問題も予想されるか。市としてどのように対応するのか。知立団地の日本人比率（若年者）を引き上げる施策が必要ではないか。</p>	
3	<p>回答所管課 企画政策課</p> <p>多文化共生（※）社会の実現に向けて、外国人人口の増加が「問題」ではなく、市の「付加価値」になるよう努めてまいります。 若年者人口に関しては、知立団地に限らず、市全体の課題として定住化促進などに取り組みます。</p> <p>（※）国籍や民族の異なる人々が、互いの文化的違いを認め合い、対等な関係を築こうとしながら、地域社会の構成員として共に生きていくこと。</p>
	<p>回答所管課 学校教育課</p> <p>知立東小学校では、国語と算数の授業を日本語の習得状況や習熟度により、学年を3つのグループに分け、一人ひとりの能力に応じた学習指導に取り組んでいます。そのため、多くの日本人児童は、他の学校と同じように教科書を使い、発展学習を含めた授業を受けているので、授業への支障は出ていないと考えています。また、知立東小学校には、外国人児童に対応するために、日本語指導の加配教員が5名、魅力ある学校設計事業により、日本語指導学習サポート支援員を7名配置するなど、外国人児童へのきめ細かな日本語指導を同時に行っています。</p>

<p>【知立を元気にする】 近郊の市に埋没して寂しいものを感じず。知立の課題は少なく、住んで楽しい街だというようにしないと周辺の市に吸収されてしまう。そういう危機感を持って街づくりをやってもらいたい。知立駅周辺の区画整理事業においても大手不動産業者の参入や資金の導入によって的確な事業推進を必要とする。</p>	
4	<p>回答所管課 都市開発課</p> <p>現在、知立駅周辺では連続立体交差事業を始めとして土地区画整理事業及び駅北市街地再開発事業を進めています。これは、知立市に来て、住んでいたが、まちの賑わいや利便性を感じていただくなど、知立市に魅力を実感していただく事業の一端と考えています。しかし、このような大型事業が知立市の財政的に大きな負担となっていることも事実であります。行政としても住んで楽しいまちの実現に向け、各事業のコスト縮減、事業期間の短縮を念頭に事業の進捗に努めてまいります。更に今後は、土地利用として民間事業者が積極的に参加できる環境を整えていきたいと考えています。</p>